

骨・関節感染症、高気圧酸素療法について

さまざまな分野に
適応が広がる「高気圧酸素療法」

現代病と高齢化で
高まるリスク



▲糖尿病が原因の病変、骨粗鬆症でもリスクが高まる

この写真の症状に驚く人も多いと思いますが、これが骨髄炎です。ちよつとした傷がもとで、ある時は傷さえもないのに、細菌が原因でわずか数日、早い時には数時間という単位で悪化してしまいます。決して特殊な病気ではなく、この症例のように糖尿病、あるいは骨粗鬆症が原因で歯周病になり、それがもとで骨髄炎を発症するという例も少な

くありません。日本の高齢化率が、アメリカやイギリスをはるかにしのぐスピードで進んでいる中、骨粗鬆症が原因の骨折も急増しています。当院では大腿骨骨折の患者さんが7年間に約2倍に増えたほどです。

骨髄炎は太古の昔から存在した病気であるにもかかわらず、近年は現代病や高齢化が原因でリスクが高まっている病気です。その上何度も発症を繰り返したり、抗菌薬では効かない細菌が現れたり、一度かかると大変怖い病気であるのに、長い間この病気の研究が進んできませんでした。

高濃度酸素の優れた働き

九州労災病院に勤務中、海に長時間潜り続ける漁師や潜水士の間で骨

壊死が多くみられることからこの病気の研究が始まりました。

病気を発症した潜水士たちは若くして人工関節置換術を余儀なくされ、その後の自活が難しくなるなど大変深刻な病気だったからです。原因が「海の中」という特殊な環境下で起こっていることから高気圧との関係に着目して研究することとなりました。一方骨髄炎の患者さんの病巣部分では、細菌が特殊なシールドを張って抗生物質を退けたり、細胞や抗体の働きを邪魔していたりすることがわかり、ならば逆に極端に高い気圧(通常1気圧の2〜3倍)をかけ、高濃度の酸素(15〜20倍)を送り込めば、細胞や抗体を助け、逆に細菌の力を弱められる…。その有効な手段として開発されたのが「高気圧酸素療

療

法」です。



社会医療法人玄真堂
川島整形外科病院
理事長 川島眞人

profile

かわしま・まひと/昭和44年東京医科歯科大医学部卒業。虎ノ門病院、九州労災病院を経て昭和56年開院。医学博士。日本整形外科学会専門医、同リウマチ医、スポーツ医、リハビリテーション学会臨床認定医他。大分県病院協会会長、日本高気圧環境・潜水医学会直前代表理事、日米宇宙・潜水・高気圧環境医学合同学会主宰、日本骨・関節感染症学会名誉会員、国際潜水・高気圧環境医学会名誉会員、2018年旭日双光賞受賞。



▲高気圧の環境を人工的に作り出す「高気圧酸素治療装置」

急激に増えた酸素は、組織の修復を速め、血管の収縮作用も高めます。さらに、白血球の働きを助けて殺菌作用を高め、細菌の増殖も抑えてくれます。気圧を高くすることで血管内の気泡や腸内ガスを縮小し血流も改善。この「高気圧」の環境を人工的に作り出すのが「高気圧酸素治療装置」



▲この分野で日本初の防災認定を取得するなど、36年に及ぶ高気圧医学の研究は各界で高い評価を得てきた

スポーツの世界やNASAでも

で、3台もの大型装置を所有しているのは全国でも当院だけで、大学病院でも例がありません。高い専門性と治療環境から、現在当院には日本はもとより、世界中から重篤な患者さんが送られてきます。

最近ではこの治療法がスポーツの分野でも広く取り入れられています。骨折や打撲、捻挫、靭帯損傷といった急性外傷による腫脹、疲労、過労といった慢性障害など幅広い範囲で適応され、ドーピングにも問われないことから、1988年の長野五輪では選手村に「高気圧酸素治療装置」が設置されたほどです。現在は、野球、

サッカー、相撲、バレーボール、ラグビー、ボクシングなど、プロスポーツの世界ではもはや一般的なともいえる治療法になりつつあります。

減圧環境は海の中だけではなく、トンネルなどの海中、そしてこれからは宇宙にも広がり、この病気の戦いはまだまだ続くと思われま。その一方で、弱まった抗体を元気にする、失った組織や細胞を再生させるというこの治療法はこの先さまざまな分野に適応されると考えられます。この治療法は、病気になる前の予防レベルでも有効なことから、さらに大きな広がりを見せてくれることでしょう。

NASAやJAXAを始め、世界の専門家から共同研究のオファーも増え、2019年は世界のトップレベルの研究者が集まる第4回アジア太平洋潜水・高気圧環境医学会がこの中津で開かれます。骨髄炎・骨壊死の治療から始まった研究が、今ではありとあらゆる病気につながるものとして大きな注目を集め、疲労回復や健康増進といった一般分野にも及んでいます。

患者さんに一言

「高気圧酸素治療装置」を使った、高い殺菌作用のある高気圧酸素療法は自ら細菌と戦う力、組織や細胞を再生する力を高めます。健康増進や疲労回復にも効果があり、コラーゲンを合成する力も備えています。今では広い範囲で、この治療法が行われています。



理事長
川島 真人



押さえておきたい チエックポイント

「川島式局所持続洗浄療法」

病巣部の汚れた体液を排出し、患部を徹底して洗浄し続ける「川島式局所持続洗浄療法」が高気圧酸素療法と並び有効です。以前、20回もの手術を受けていた難治性骨髄炎の患者さんにこの治療法を適応したところ全快した例があり、以来、広くこの治療が行われるようになっていきました。

専門医による早期診断を

生後間もない赤ちゃんから高齢者まで発症しうる病気です。高熱、激痛、局所の発赤、熱感、圧痛、腫脹の自覚症状もあります。病状が一気に進行することもあり、いずれにしても専門医による確実な早期診断がとて重要です。

DATA

社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人 院長 川島 眞之

tel.0979-24-0464

<http://kawashimahp.jp/>

川島整形外科病院 tel.0979-24-0464

理事長 川島 真人 院長 川島 眞之

- 住所 / 中津市宮夫17
- 駐車場 / 196台(共有)
- アクセス / JR中津駅からバスで約10分
(「宮夫」バス停から徒歩0分)
- 受付時間 / 火・金・土曜9:00~12:00(予約制)※救急患者は24時間体制 ※脳神経外科は第2・第4水曜9:00~12:00
- 休診日 / 土曜午後、日曜、祝日
- 診療科目 / 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・脳神経外科

かわしまクリニック tel.0979-24-9855

所長 田村 裕昭

- 住所 / 中津市宮夫11-1
- 駐車場 / 196台(共有)
- アクセス / JR中津駅からバスで約10分
(「宮夫」バス停から徒歩0分)
- 受付時間 / 9:00~12:30、土曜~12:00/
月~金曜14:00~18:00
- 休診日 / 土曜午後、日曜、祝日
- 診療科目 / 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

